

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017 年 32 週 (8 月 2 週 8/7~8/13)

2017 年 7 月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

◆トピックス

手足口病、ヘルパンギーナ、RSウイルス感染症、日本の輸入デング熱症例の動向、ダニ媒介感染症に係る注意喚起

◆病原体検出情報

◆定点医療機関コメント

手足口病、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎、マイコプラズマ感染症、ヘルパンギーナ等

◆全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(21)、腸管出血性大腸菌感染症(10)、デング熱(1)、レジオネラ症(4)、アメーバ赤痢(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(6)、急性脳炎(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(1)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)、水痘(入院例に限る。)(1)、梅毒(6)

◆2017 年 7 月報

◆定点把握感染症報告数 (保健所別、年齢別)

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

◆手足口病 (図 1) 【7 月 13 日警報発令】

32 週の定点当たり報告数は 7.89、31 週 2,271 人→32 週 1,436 人(0.63 倍)です。2017 年に搬入され検査が終了した 20 検体より、CV (コクサッキーウイルス) -A6 型が 7 件、CV-A16 型が 4 件、EV (エンテロウイルス) -71 型が 1 件検出されています。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!! (7 月 13 日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000016940.html>

疾患別ウイルス検出状況 (速報)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

豊橋市:手足口病が流行しています (6 月 26 日発表・8 月 7 日第 2 報)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/51604.htm>

<注目すべき感染症>手足口病 (国立感染症研究所感染症疫学センター)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/636-disease-bas ed/ta/hfmd/idwr-topic/7413-idwrc-1728.html>

◆ヘルパンギーナ (図 2)

32 週の定点当たり報告数は 1.08、31 週 299 人→32 週 197 人(0.66 倍)です。

◆RS ウイルス感染症 (図 3)

32 週の定点当たり報告数は 1.34、31 週 175 人→32 週 244 人(1.39 倍)です。

【参考ページ】RS ウイルス感染症

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/rs.html>

過去 10 年間との比較グラフ (週報) -RS ウイルス感染症 (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/10/2096-weeklygrap h/1661-21rsrv.html>

◆日本の輸入デング熱症例の動向について

【参考ページ】日本の輸入デング熱症例の動向について (国立感染症研究所)

https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/dengue/PDF /dengue_imported201708.pdf

◆ダニ媒介感染症に係る注意喚起について

北海道において国内 4 例目 (2017 年 2 例目) とするダニ媒介脳炎患者の発生が確認されました。

【参考ページ】ダニ媒介感染症に係る注意喚起について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900 000-Kenkoukyoku/0000174219.pdf>

ダニ媒介脳炎について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000133077.html>

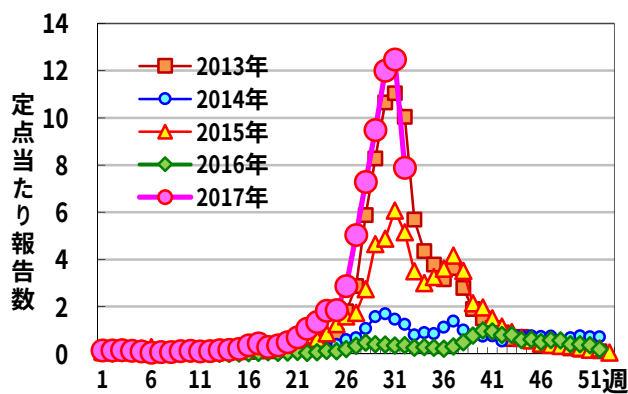


図1 手足口病

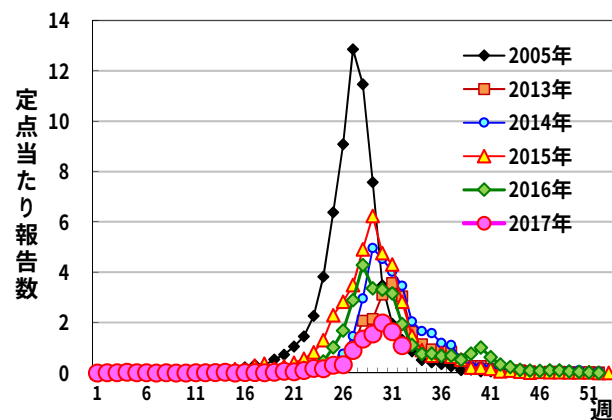


図2 ヘルパンギーナ

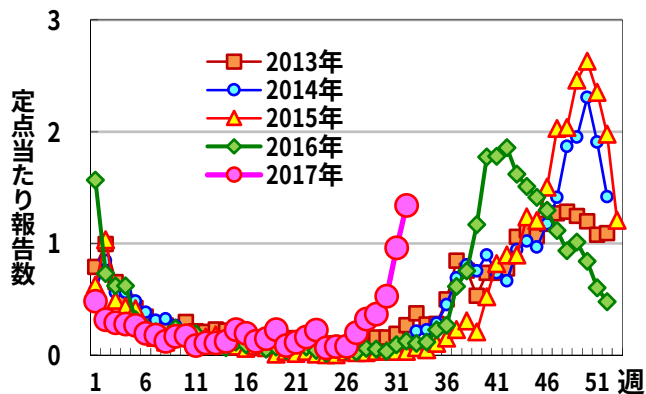


図3 RSウイルス感染症

病原体検出情報 —2017年疾患別ウイルス検出速報— (2017年8月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ 2016/2017 シーズン	* * 麻しん・風しん
患者数	161	81	17	18	1	8	15	601	9(6)
CV-A6	-	7	1	-	-	-	-	-	-
CV-A10	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-A16	-	4	-	-	-	-	-	-	-
EV-71	-	1	-	-	-	-	-	-	-
E-6	1	-	-	-	-	-	-	1	-
E-7	1	-	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	2	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	13	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	420	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	40	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	26	-
HMPV	-	-	-	-	-	-	-	1	-
Rota A G1	6	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	8	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G3	21	-	-	-	-	-	1	-	-
Rota A G8	14	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	3	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	34	-	-	-	-	-	-	-	-
SV	5	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	11	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	1	-	-	2	-	-	-	1	-
Ad-2	5	-	-	3	-	-	-	1	-
Ad-3	-	1	-	4	-	-	-	1	-
Ad-5	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-6	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-31	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-41	8	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	-	-	-	1	-	-	-	-	-
検査中	28	61	15	5	0	6	5	5	5(0)
陰性	28	7	1	1	1	2	9	90	4(6)

*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)の結果

**麻しん・風しんの()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、
EV: エンテロウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、
FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HMPV: ヒトメタニューモウイルス、
HRV: ヒトライノウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、SV: サボウイルス

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

- RS ウイルス感染症 9 人と多い。ひどい咳と発熱数日間。
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- 手足口病依然多いです。
8 歳女 サルモネラ腸炎
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
- 手足口病、ヘルパンギーナの流行続いています。
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 手足口病流行つづいています。
RS も増加中
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- 手足口病は相変わらず多いです。
RS が増えてきました。
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
- カンピロバクター腸炎 0 歳男
【北名古屋市 田中クリニック】

尾張東部地区

- 手足口病まだ流行続いています。
ヘルパンギーナもあり
その他溶連菌感染症
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 手足口病の流行が続いています。
【日進市 みやがわクリニック】
- インフルエンザ陽性報告なし
手足口病、ヘルパンギーナは多いままです。
RSV も依然多いままです。
【春日井市 春日井市民病院】
- 4 歳女 マイコプラズマ
夏かぜ減少
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- RS ウイルス感染症、手足口病が目立ちます。
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 手足口病散発
感染性胃腸炎も少しあります。
普通感冒多い
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 6 歳女 マイコプラズマ
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- インフルエンザ A 型 1 名 オーストラリア
旅行後に受診
【東海市 こいで内科医院】

西三河地区

- StrepA(+) 3 名
アデノ(+) 4 歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
- マイコプラズマ肺炎 4 歳男 10 歳女 4 歳女 6 歳男
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
- 手足口病引き続き流行
【碧南市 永井小児クリニック】
- インフルエンザ A 型 1 名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】

東三河地区

- RS ウイルス感染症が流行中です。
手足口病も流行中です。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- RS 流行してきました。
【豊橋市 あずまだこどもクリニック】
- 咽頭結膜熱 1 歳男 1 名
【豊橋市 富安眼科】
- 病原性大腸菌 O25 1 歳女
病原性大腸菌 O1 2 歳男
サルモネラ O7 5 歳女
病原性大腸菌 O25 5 歳女
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年8月16日現在

一～三類感染症

＜関連リンク＞ 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

● 結核（二類感染症）

報告保健所	2017年32週報告数			2017年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者数再掲
名古屋市(16保健所合計)	7	1	3	348	77	82
豊田市				31	8	7
豊橋市				39	6	13
岡崎市	1		1	27	11	7
一宮				65	23	25
瀬戸	4		2	67	6	25
半田	1		1	40	9	15
春日井				75	16	26
豊川	1			27	11	2
津島	1			51	7	12
西尾	2			18	7	2
江南				25	9	4
新城	1		1	3	1	1
知多	1	1		32	13	10
清須	1			17	8	1
衣浦東部	1			52	9	18
合計	21	2	8	917	221	250

● 腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	48歳	女	-/-	8/5	8/10	O26、VT型不明
2	名古屋市	34歳	男	8/3	8/3	8/8	O157、VT2(+)
3	名古屋市	51歳	女	8/3	8/7	8/10	O157、VT1(+) VT2(+)
4	豊田市	50歳	女	8/3	8/5	8/9	O157、VT型不明
5	豊田市	46歳	男	8/3	8/9	8/10	O145、VT2(+)
6	岡崎市	28歳	男	8/6	8/9	8/13	O157、VT1(+)
7	瀬戸	21歳	男	7/29	8/1	8/4	O157、VT2(+)
8	瀬戸	3歳	男	8/8	8/10	8/12	O157、VT型不明
9	江南	40歳	女	7/30	8/1	8/5	O157、VT2(+)
10	江南	25歳	女	8/1	8/4	8/7	O157、VT型不明

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

● デング熱（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	知多	31歳	男	デング熱	スリランカ

● レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	79歳	女	肺炎型	国内
2	江南	55歳	男	肺炎型	国内
3	知多	59歳	男	肺炎型	国内
4	衣浦東部	71歳	女	肺炎型	国内

● アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	知多	45歳	男	腸管アメーバ症	性的接触	国内

● カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	63歳	男	不明	国内	無
2	名古屋市	82歳	女	以前からの保菌	国内	無
3	豊田市	62歳	男	以前からの保菌	国内	無
4	半田	46歳	女	不明	国内	無
5	衣浦東部	87歳	男	不明	国内	無
6	衣浦東部	87歳	女	不明	国内	無

● 急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	1歳	男	病原体不明	国内

● 劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	岡崎市	37歳	女	国内

● 後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	瀬戸	21歳	男	AIDS	性的接触	国内

● 侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	67歳	男	不明	国内

● 水痘（入院例に限る。）（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	豊橋市	31歳	女	無	中華人民共和国

● 梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	44歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	39歳	女	無症候	性的接触	国内
3	名古屋市	23歳	女	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	20歳	女	早期顕症	性的接触	国内
5	一宮	31歳	男	早期顕症	性的接触	国内
6	津島	44歳	男	早期顕症	性的接触	国内

2017年7月報

(2017年8月14日現在、診断週に基づく集計)

7月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [() は無症状病原体保有者再掲]

2016～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 () 内は全数把握対象疾病数		2017年7月			2017年	2016年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	62 (19)	46 (6)	108 (25)	864 (230)	1,740 (444)
三類 (5)	コレラ	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	10 (0)	9 (2)
	腸管出血性大腸菌感染症	7 (1)	4 (1)	11 (2)	60 (17)	160 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	12 (2)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	4	5
	A型肝炎	1	0	1	5	5
	オウム病	0	0	0	2	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	0	2
	チクングニア熱	0	0	0	0	3
	つつが虫病	0	0	0	0	3
	デング熱	1	0	1	4	20
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	レジオネラ症	9	5	14	57	97
五類 (22)	アメーバ赤痢	3	3	6	35	68
	ウイルス性肝炎	1	1	2	4	5
	内訳	B型	1	2	4	4
		その他	0	0	0	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	3	3	6	50	76
	急性脳炎	2	1	3	27	39
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1	6	13
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3	25	26
	後天性免疫不全症候群	1	3	4	39	99
	内訳	無症候性キャリア	0	2	20	64
		AIDS	1	2	16	32
		その他	0	0	3	3
	ジアルジア症	0	0	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5	1	6	23	25
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	2	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	3	7	140	156
	水痘(入院例に限る。)	0	1	1	9	14
	梅毒	15	14	29	186	259
	内訳	無症候	1	6	52	69
		早期顕症	14	8	127	181
		晩期顕症	0	0	6	9
		先天梅毒	0	0	1	0
	播種性クリプトコックス症	2	0	2	9	11
	破傷風	1	0	1	4	5
	風しん	0	0	0	0	20
	麻しん	0	0	0	1	5
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	0	2
総 計		121	87	208	1,570	2,890

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名		2017年7月			2017年 累計	2016年 総計
			愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体	愛知県全体
						合計	合計
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	33	37	70	485	905
		女	37	21	58	376	650
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	10	12	22	138	231
		女	10	9	19	183	402
	尖圭コンジローマ	男	7	14	21	119	207
		女	6	4	10	60	106
	淋菌感染症	男	14	31	45	257	483
		女	7	4	11	41	71
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		67	25	92	599	957
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		6	2	8	78	102
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	1	0

感染症の類型及び定義 (感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症* (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

2017年32週 (2017年8月7日～2017年8月13日)

愛知県衛生研究所

[illegible]

2017年32週 (2017年8月7日～2017年8月13日)

[illegible]

グラフ総覧

2017年32週 (8月7日～8月13日)

愛知県 (名古屋市データ含む) の1999年13週から2017年32週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

